

大神神社(桜井市)

これは大神神社の大鳥居で、背後の山が三輪山



霧が晴れるとこんな感じ



大神神社大鳥居 概要

当大神神社は、我が国最古の神社にして、大和国一の宮であります。

この大鳥居は、去る昭和五十九年十月十三日の天皇陛下御親拝を記念すると共に、御在位六十年を奉祝して計画されたもので、氏子崇敬者の皆様より寄進された多額の御浄財を以て見事に竣工しました。

この大鳥居の建立により秀麗なる三輪山が一層威容を増し、御社頭に荘嚴を加えましたことは、洵に御河原の至りで、大神様と御参拝の皆様が更なる御神縁を深く結ばれること願って止みません。

記

- 一、高さ 三三・二〇メートル
- 一、柱間 一三・〇〇メートル
- 一、柱の直径 三・〇〇メートル
- 一、柱木の長さ 四〇・八六メートル
- 一、本体総重量 一八・五ト ン
- 一、材 質 耐候性銅板（あらゆる天候に耐えうる銅板）
表面に積層が形成され、それが一種の塗膜の役割を果たし腐食を防止する
- 一、耐久性 一、三〇〇年
- 一、耐風圧力 風速八〇メートルに充分耐える
- 一、耐震力 マグニチュード一〇の地震に充分耐える
- 一、基礎構造 （片側柱について）

基礎は縦一〇メートル・横七メートル・厚さ四メートルの鉄筋コンクリートを打ち、その下に地下二六メートルまで直径一・一メートルの鉄筋コンクリート杭四本が直打ちされている。片方基礎部に約六〇〇立方メートルのコンクリートが注入されている。

- 一、奉 賛 者 一〇、〇〇〇名
（詳細は奉賛者芳名録・工事の記録が収められている）

一、竣工に至る過程

- ・地 鎮 祭 昭和六十年九月十八日
- ・柱木・島木上掲 昭和六十年十二月十二日
- ・竣工奉告祭 昭和六十一年五月二十八日

大神神社社務所

住 所 桜井市三輪一四二二

電話番号 〇七四四一四二一六六三三

さて、ここを左手に進むと大神神社へ向かう/右手に進むと自動車お祓所がある



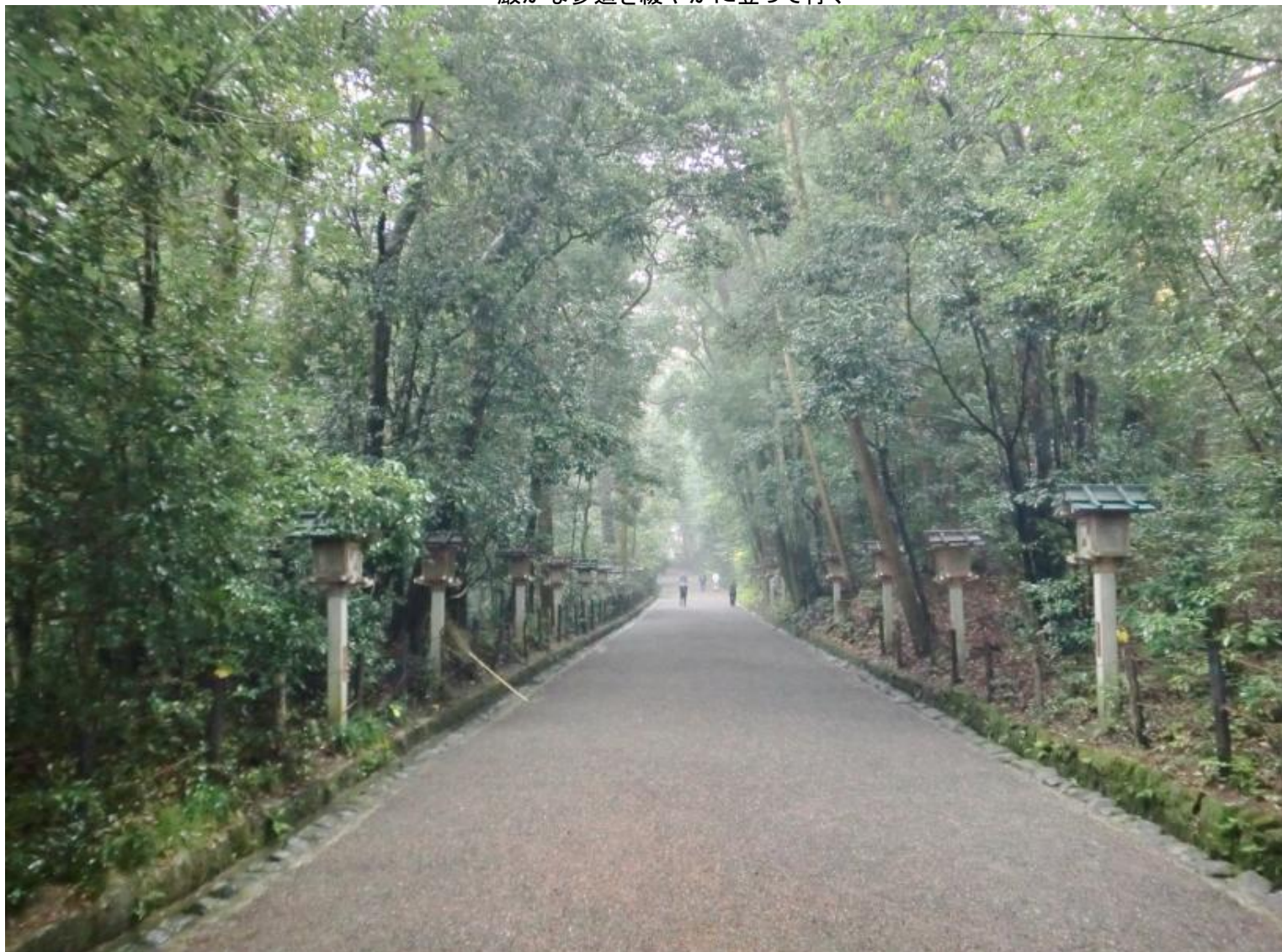




これは大神神社の二の鳥居



厳かな参道を緩やかに登って行く



この橋を渡った左手に祓戸神社がある



これがその祓戸神社



これはそこから少し進んだところにある手水舎





さて、この先が大神神社境内/左手に史跡の標柱が立っている



大神神社の由緒が記などもある



大和国一ノ宮
三輪明神

大神神社

御祭神

大物主大神（おおものぬしのおおみ）

配神

大己貴神（おおなむちのかみ）
少彦名神（すくなひこのかみ）

古神社は、香深な三輪山を神体山とする我国最古の神社で、元宮豊大社、早稲式内の名神大社二十二社の一社で、大和国一宮、全国各地に祭祀せられる大物主神の総本社であります。

大物主神は、大田王神の和魂（靈魂・奇魂）で、大田王神が神代の昔因縁うに受けつれたとき、その和魂が現れ、問答の後、自らこの三輪山に鎮まられたのであり、農工商等あらゆる産業を開発し、常に日常生活全般をお守り下さい、願望、凶界を主宰し、給り知の大神であります。その御神徳は秘のて広大であります。古事記、日本書紀、万葉集等の古書により明瞭に伺えます。大和、河内、摂津はもとより、広く全国において篤い信仰を集めています。

山麓には、崇神天皇から推古天皇に至る十三代の皇居遺跡があり、この地は古時の国道一号线としよう（さ）山の辺の道を動脈として、飛鳥以前約四五世紀頃の日本の政治経済の中心をなしていました。境内地は、現在古都保存法による歴史的限上三輪山特別地区及び国の史蹟に指定されています。

三輪山

標高四六七メートル・周囲十六キロメートル
面積三五〇ヘクタール

三ツ鳥居

明神鳥居三基を組合わせた独特の形式は、古来一社の神祕とされています。

拝殿

寛文四年（一六六四）四代將軍徳川家綱公改建

主な祭典

- 一月一日 陵道祭
- 四月八日・十日 春の大神祭
- 四月十八日 鎮花祭（本社及び鏡井神社にて高野）
- 六月十七日 三岐祭（奈良市平川神社にて高野）
- 十月十三日・二十五日 秋の大神祭

境内案内図



これが大神神社拝殿/重要文化財/江戸時代(1664年)再建







この拝殿の奥に「三ツ鳥居」があり、その背後の三輪山が御神体で、本殿は無い



境内の左手を見たところ



境内の右手を見たところ



さて、ここは自動車お祓所



こんな感じ



参考ホームページ

<http://oomiwa.or.jp/keidaimap/>

http://www.genbu.net/data/yamato/oomiwa_title.htm

<http://www.y-morimoto.com/jinja22/ohmiwa.html>

http://homepage2.nifty.com/kys/kys.kodai_miwajinja.htm

<http://www.bell.jp/pancho/travel/yamanobe/ohmiwa.htm>

<http://www.yumemusubi.com/mori/jinja/nara/oomiwa.htm>

<http://fishaqua.gozaru.jp/nara/sakurai/oomiwa/text.htm>

<http://small-life.com/archives/10/04/1120.php>

http://www.harimaya.com/o_kamon1/syake/view/omiwa.html

<http://www.shinbutsu-reijou.com/nara/omiwajinja.htm>

<http://jp-isan.com/omiwajinja.html>

